

# 留学体験レポート

国際学部 2年 赤川万里慧

## 1. はじめに

どこか日本ではない外国へ留学に行くことは、私とそして母の昔からの夢でした。幼いころから英会話塾に通わせてくれた母は、私のアメリカ留学を最初から最後までいつも応援してくれて、自分のことのように喜んでくれました。今回、私がアメリカ留学に参加するに決めた動機は、はじめのうちは上記のようなぼんやりとしたものでした。しかし、国際関係を学ぶ大学に入り、英語専攻で学んでいくうちに、国内外に出たときの自分と自分の語学力を客観的にとらえなおしてみたい、という思いにかられるようになりました。

今回の留学は、そんな私の思いを十分になえられるだけの貴重な体験でした。この体験をもとにレポートにまとめたいと思います。

## 2. アメリカでの生活

私にとって、家を離れて家族以外と寮生活することは未知の体験だったため、はじめはちゃんと生活できるのか両親にも心配されましたし、私自身も心配でした。

しかし、University of central Missouri(UCM)の寮は授業する建物も近く、設備も整っていたため安心して生活することができました。食べ物はアメリカらしくお肉やパンが多めでしたが、ベジタリアン用のメニューも多くあり、意識して野菜を食べるようにしていました。

## 3. 授業について

私が参加したクラスは、本校の生徒が4人とそれ以外みんな他国の留学生というクラスでした。日常会話はもちろん、授業内容も全て英語でしたが、いろいろな人と話すうちに慣れていったように思います。一番大変だったのは内容ではなくて、グループプレゼンの準備です。自分1人の発表ではないので、グループのメンバーと英語でコミュニケーションをとりながら進めていくのが大変でした。反対に文法の授業は日本語で受けるよりも分かりやすいと感じました。

## 4. 課外活動について

授業の他にもハロウィンや映画、ショッピングなどたくさんのイベントに参加してきました。特に私が印象に残っているのは、アメリカのハロウィンショップに行ったこととハロウィンの時期にダウンタウンに行ったことです。アメリカのハロウィンは、日本よりも本格的で小物がとてもたくさん売っているところにお国柄を感じました。特に、家の前に置く巨大なジェイソンのオブジェや墓石に驚きました。

また、アメリカはフットボールが盛んです。University of central Missouri (UCM) でも

大いに盛り上がるのですが、応援席がチームカラーの赤で染まるので、これから留学に行く人は赤いグッズや服を持っていくことをおすすめします。



##### 5,終わりに

今回の留学を通じて、様々な交流やたくさんの経験を得ることができました。これらはアメリカで、またこのメンバーでこの時にしか得られない貴重なものであると思います。この機会に感謝し、これからも語学の勉強や多文化理解に邁進していきたいと感じました。